

## 令和7年第4回(9月)上越市議会定例会

### 総務常任委員会資料【所管事務調査】

地方創生の取組状況について	.....	1
○地域再生計画 テーマ1 「地域資源をいかした観光誘客～市民が主役の観光地域づくり～」	.....	2
○地域再生計画 テーマ2 「雪室による地域活性化計画」	.....	3
○地域再生計画 テーマ3 「久比岐野改修による雪だるま高原活性化計画」	.....	4
○地域再生計画 テーマ4 「デジタル人材教育・育成・確保と企業DX推進戦略」	.....	5
○地域再生計画 テーマ5 「上杉謙信公から繋がる歴史・文化をいかした通年観光 ～越後の都 誇れる上越の3つの暮らしと心意気～」	.....	6
○地域再生計画 テーマ6 「上越市まち・ひと・しごと創生推進計画」	.....	7

## ■ 地域再生計画

○ 地域再生計画は、地方公共団体が行う自主的かつ自立的な取組による地域経済の活性化や雇用機会の創出など、地域の活力の再生を総合的に推進するため、地域再生法に基づき内閣総理大臣が認定する計画

## ■ 当市の取組

○ 平成28年から地域再生計画を作成し、国の交付金等を活用しながら、地域を挙げて地方創生に係る取組を展開

## ■ 令和6年度に実施した地域再生計画に係る6つのテーマ

テーマ	全体計画		令和6年度			
	主な事業概要	主な事業概要	交付金対象総事業費	目標達成状況	主な評価	担当課等
【テーマ1】 地域資源をいかした観光誘客～市民が主役の観光地域づくり～ (R2～R6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地域づくり実践未来塾開催</li> <li>観光データの収集</li> <li>「なおえつ うみまちアート」開催支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「未来塾」連続講座の開催</li> <li>観光データの収集</li> <li>歴史的旧家の周知活動の強化</li> <li>インクルーシブ野外活動の推進</li> </ul>	4,154千円	達成：1指標 未達成：2指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>上越観光Naviの閲覧数は目標を大きく上回った。</li> <li>歴史的旧家の来場者数は、能登半島地震による建物被害等により、令和5年度と比較して減少したが、今後、新たなPR手法やイベントを企画することにより、増加につなげていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力創造課</li> <li>文化振興課</li> <li>観光振興課</li> </ul>
【テーマ2】 雪室による地域活性化計画 (R2～R6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光対応型「雪中貯蔵施設」整備</li> <li>備品購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設見学の実施</li> <li>積極的な地場農産物の販売促進事業</li> </ul>	—	達成：1指標 未達成：2指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>貯蔵した農産物の販売額は目標を大きく上回った。</li> <li>未達成であった施設等の見学者数や入込客数は、情報発信等の取組により増加につなげていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農村振興課</li> <li>観光振興課</li> </ul>
【テーマ3】 久比岐野改修による雪だるま高原活性化計画 (R2～R6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>温泉の宿「久比岐野」改修整備</li> <li>源泉揚湯ポンプ購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>温泉の宿「久比岐野」における物販</li> <li>観光施設等管理事業</li> </ul>	—	達成：0指標 未達成：3指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用・来場者数は、施設整備や大雪の影響により、令和5年度と比較して減少したが、ナイター営業や今シーズン限定のツアー等を実施して集客に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興課</li> </ul>
【テーマ4】 デジタル人材教育・育成・確保と企業DX推進戦略 (R5～R7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT人材育成・確保支援事業</li> <li>ものづくり企業DX推進支援事業</li> <li>企業誘致促進事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「出張IT説明会」、「IT講座」等の開催</li> <li>オフィスビルの整備支援</li> </ul>	60,887千円	達成：2指標 未達成：2指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX認定事業者数やIT人材育成事業への参加人数は、新たな研修会や講座の実施等により、令和5年度と比較して増加しているものの、目標達成には至らなかった。</li> <li>引き続き、各種支援や積極的な周知により、更なる増加につなげていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業政策課</li> <li>上越ものづくり振興センター</li> <li>産業立地課</li> </ul>
【テーマ5】 上杉謙信公から繋がる歴史・文化をいかした通年観光～越後の都 誇れる上越の3つの暮らしと心意気～ (R6～R8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>回遊観光戦略・観光施設基本構想検討事業</li> <li>鉄道遺産群活用基本計画検討事業</li> <li>久比岐自転車道誘導用路面標示設置事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道遺産群活用基本計画の検討</li> <li>観光コンテンツの検討</li> <li>回遊観光戦略・観光施設基本構想の検討</li> </ul>	48,238千円	達成：3指標 未達成：1指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における観光消費額（県外宿泊客の消費額単価）は、目標を達成することができた。</li> <li>春日山地域を始めとした計画策定後の整備を進めていくことにより、観光消費額の増加を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力創造課</li> </ul>
【テーマ6】 上越市まち・ひと・しごと創生推進計画 (R2～R6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業版ふるさと納税（寄附対象：第2期総合戦略に基づく事業）</li> </ul>	—	寄付総額：102,500千円 寄附企業：13社	達成：3指標 未達成：4指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代の「暮らしやすい」、「住み続けたい」、「雇用の場が整っている」と感じる割合の目標は達成した。</li> <li>未達成となった指標の達成に向け、しごとづくりや結婚・出産・子育てなど、各種取組を推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合政策課</li> </ul>

## ■ 背景・目標

- 市内には春日山城や高田城など、多種多様な地域資源が多く存在するが、合併により広域となった市域ゆえ地域間の連携が弱く、点在する魅力が繋がっていないなど、地域全体のポテンシャルの高さをいかしきれていない状況にある。
- そこで、本計画では、市民を含む様々な主体が観光の担い手となり、地区間の連携の意識を醸成しながら地域一丸となった観光地域づくりを行うことで、日常的な観光誘客の基礎となる環境を整えるとともに、様々な地域資源の付加価値を高めることで、観光入込客や観光消費の増加を図り、地域活性化を目指すものとする。

## ■ 計画の概要

### <計画期間>

令和2年度～令和6年度（5年間）

※企業版ふるさと納税制度の活用により、計画期間を3年から5年に延長

### <交付金対象総事業費>

78,193千円

### <事業概要>

- 観光地域づくり実践未来塾の開催（R2～R6）
- 観光データの収集（R2～R6）
- SNSを活用した市民による情報発信の促進（R2～R6）
- 地域資源連携交流促進支援事業（R2～R4、R6）
- 「なおえつ うみまちアート」開催支援（R3）
- UT（ユニバーサルツーリズム）受入体制整備事業（R6）

### <企業版ふるさと納税制度の活用>

「なおえつ うみまちアート」開催支援（寄附額：14,300千円）

## ■ 令和6年度の事業 4,154千円

### ①観光地域づくり実践未来塾の開催

- ・様々な担い手が各々の取組に役立つ知識や技術を習得し、観光やおもてなしに資する事業を創出するため、観光地域づくり実践未来塾において、民間事業者や県と連携し、セミナーやワークショップ等を2回実施

### ②観光データの収集 496千円

- ・観光地点パラメータ調査を実施（春日山城跡及びうみがたりを訪れた観光客を対象に、四半期ごとにアンケート調査を行い、属性別の構成比（出発地、宿泊客・日帰り客等）、平均訪問地点数等について聞き取り）

### ③地域資源連携交流促進支援事業 200千円

- ・歴史的旧家4邸について、各種メディアに取り上げてもらうことでの周知拡大を図るため「NPO法人上越名家ネットワーク」に補助金を交付し、放送局等へ提案する企画書の作成を支援

### ④UT（ユニバーサルツーリズム）受入体制整備事業 3,458千円

- ・ハンディキャップを持つ人も家族や友人と同じ野外活動を楽しめるように工夫するインクルーシブ野外活動を推進
- ・専門知識や技術を持つ指導員等の養成講座を開講し、11人が受講
- ・学校スキー授業において、支援を必要とする児童や生徒がクラスメイトと一緒にスキー授業を受講できる支援体制の実証事業を7校で実施



観光地域づくり実践未来塾  
セミナー・ワークショップの様子

評価指標（KPI）				評価
指標	事業開始前	目標値 (令和6年度)	実績値 (令和6年度)	
休日1日当たりの市民以外の市内滞在人口（年間平均）	23,754人 (平成30年度の実績を基に算出した令和元年度の見込値)	33,336人	【参考】 18,525人 (令和4年度)	※データ出典元の「RESAS（地域経済分析システム）」が令和7年3月に新システムに移行したことに伴い、当該データの提供が終了したため、測定不能
歴史的旧家の連携誘客事業の年間来場者数	2,483人 (令和元年度)	4,444人	1,804人	【目標値の達成は5割未満】 ・令和6年能登半島地震による建物被害のため、一斉公開時の見学範囲を制限したことに加え、バスツアーでの団体利用が減少したことにより、目標値が未達成となったと考えられる。 ・今後は、旧家にまつわる歴史や文化、習わしを「SDGs」の観点から再考し、各メディアを通じて紹介するとともに、一斉公開時に体験型イベントの企画などを行うことで、誘客を図っていく。
上越観光Naviの総ページビュー数	1,009,687件 (平成30年度)	1,600,000件	2,457,739件	【目標値を達成】 ・様々な観光情報の発信を「上越観光Navi」に一元化したことで、一次情報の取得先としてのニーズが高まったことから閲覧数の増加につながったと推察される。 ・引き続き、適時適切な情報発信を行う。
拠点施設の入館者数（直江津学びの交流館、ライオン像のある館、直江津ショッピングセンター、直江津屋台会館）	953,404人 (平成30年度)	984,500人	949,676人	【目標値の7割以上達成】 ・令和5年度実績と比較し、「ライオン像のある館」はほぼ同数、「直江津学びの交流館」は約3,100人増加、「直江津屋台会館」は約5,500人増加したものの、「直江津ショッピングセンター」で約15,500人減少しており、施設ごとで増減の偏りがある状況である。 ・引き続き、まちなかへの回遊を促進するような仕掛けづくりに関係団体と検討していく。

## ■ 背景・目標

- 中山間地域では、農家の高齢化に伴う担い手不足のほか、農地が不整形であることや小規模であることなどの要因により、生産性が低くなるケースが多いことから、農産物の付加価値を高めるなどの取組によって安定的な収入確保と農業の担い手確保が必要となる。
- そこで、本計画では、道の駅「雪のふるさとやすづか」地内に雪室を整備し、雪中貯蔵を通じて農産物の付加価値の向上を図るとともに、直売やインターネット販売などの多様な手段によって販路を確保し、収入の向上を目指す。さらに、見学できる雪室とすることにより道の駅の魅力を高めて新たな交流やにぎわいの創出を図り、地域の活性化につなげるものとする。

## ■ 計画の概要

### <計画期間>

令和2年度～令和6年度（5年間）

### <事業費>

108,128千円

### <事業概要>

○ 観光対応型「雪中貯蔵施設」整備（R2）

・ 102,546千円 [地方創生拠点整備交付金]

○ 備品購入費（R2）

・ 5,582千円 [地方創生推進交付金]

※雪中貯蔵施設を整備し、令和3年3月27日にオープン

### (関連事業)

○ 中山間地域の強みをいかした農産物等販売促進事業（R2～R3、R4から積極的な地場農産物の販売促進事業に統合）

○ 積極的な地場農産物の販売促進事業（R2～R6）

○ 越後田舎体験事業（R2～R6）

### <施設概要>

○ 所在地：上越市安塚区樽田158番地  
(道の駅 雪のふるさとやすづか内)

○ 施設名称：ユキノハコ（雪中貯蔵施設）

○ 構造等：木造2階

○ 建築面積：356.15㎡

○ 延床面積：432.31㎡  
(1階/346.14㎡・2階/86.17㎡)

○ 主な施設：貯蔵庫/75㎡ 貯雪室/76㎡

## ■ 令和6年度の事業

本計画の対象事業は、令和2年度で完了しているため、令和3年度以降は関連事業を実施しつつ、事業効果を見極めることとしている。

### 【関連事業】

○ 施設で実施した事業

・ 施設見学の実施（土、日、祝日の午前11時と午後1時の1日2回ずつ）

○ 積極的な地場農産物の販売促進事業

・ 農業者等への豊富な支援経験を持つ専門家講師に加え、自ら販売促進に取り組む市内農業者から学ぶ連続講座の開催

・ 農業者等が行う営業活動や広告宣伝の取組など、農林水産物等のマーケティング活動への支援

○ 越後田舎体験事業

・ 受入地域開拓のための周知、勧誘活動、新たなコンテンツの造成

・ 越後田舎体験推進協議会負担金など



<施設外観>



<「ユキノハコ」ロゴデザイン>



<雁木の回廊・パネル展示>



<見学ブリッジ>



<利用のご案内チラシ>

評価指標（KPI）				評価
指標	事業開始前 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	実績値 (令和6年度)	
貯蔵した農産物の販売額	0千円	5,513千円	16,081千円	【目標値を達成】 ・引き続き、市内の農業者へ利用を呼び掛ける取組などにより、施設利用実績及び貯蔵した農産物の販売額の増加につなげる。
雪中貯蔵施設の見学者数	0人	6,000人	481人	【目標値の達成は5割未満】 ・越後田舎体験事業で訪れた児童・生徒を案内したほか、道の駅でのイベントに合わせて見学会を実施したが、目標値を達成できなかった。 ・引き続き、越後田舎体験事業との連携や道の駅でのイベントに合わせた見学会を開催するほか、ユキノハコ及び隣接する雪だるま物産館、樽田そば処を紹介する動画やチラシを新たに作成するなど、更なる情報発信を行うことで、施設見学者数の増加につなげていく。
道の駅「雪のふるさとやすづか」の年間入込客数	98,405人 (平成30年度)	115,405人	77,021人	【目標値の7割以上達成】 ・雪中貯蔵施設「ユキノハコ」の見学者数が当初の見込みよりも下回ったことに加え、雪だるま物産館、樽田そば処ともに冬期間の利用者数が伸び悩み、目標値を達成できなかった。 ・引き続き、ホームページやSNSでの情報発信に努めるほか、道の駅「雪のふるさとやすづか」を構成する3施設と区内の観光施設等との連携による相乗効果により、入込客数の増加につなげていく。

## ■ 背景・目標

- 安塚区の雪だるま高原一帯には、スキー場「キューピットバレイ」、宿泊施設「久比岐野」、日帰り温浴施設「雪の湯」があり、冬期間を主力とした通年観光の拠点となっていた。しかし、年々利用者数が減少していることに加えて、日帰り温浴施設「雪の湯」については、源泉の水位の低下や施設の老朽化が進んでいた。
- そこで、本計画では、宿泊施設「久比岐野」を日帰り温浴施設としても活用できるよう改修することにより、「雪の湯」に代わる機能を維持しつつ、日帰り客を対象にした飲食サービスや物販サービスを提供し、観光産業の振興と雇用の創出を目指すものである。

## ■ 計画の概要

### <計画期間>

令和2年度～令和6年度 (5年間)

### <事業費>

78,298千円

### <事業概要>

- 温泉の宿「久比岐野」改修整備 (R2)
  - ・ 72,028千円 [地方創生拠点整備交付金]
- 源泉揚湯ポンプ購入 (R2)
  - ・ 6,270千円 [地方創生推進交付金]

※宿泊施設の浴室を日帰り温浴施設として改修し、

令和2年12月13日から供用を開始

### (関連事業)

- 観光施設等管理事業 (R2～R6)

### <施設概要>

- 所在地：上越市安塚区須川2352番地
- 施設名称：温泉の宿 久比岐野
- 構造等：2階建て (1階RC造、2階木造)
- 改修を行った建築面積：115.94㎡ (うち増築33.12㎡)
- 改修を行った延床面積：157.34㎡ (1階41.4㎡、2階115.94㎡)

	改修前 延床面積	改修後 延床面積
浴室	33.12㎡	66.25㎡
うち浴槽	13.95㎡	33.12㎡
脱衣室	33.12㎡	49.69㎡

## ■ 令和6年度の事業

本計画の対象事業は、令和2年度で完了しているため、令和3年度以降は関連事業を実施しつつ、事業効果を見極めることとしている。

### 【関連事業】

- 施設で実施した事業
  - ・ ゆきだるま温泉「久比岐野」における物販
- 観光施設等管理事業
  - ・ 雪だるま高原施設の指定管理委託料
  - ・ 指定管理者：株式会社 スマイルリゾート
  - ・ 指定管理の協定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日



<外観>



<浴槽>



<脱衣室>



<浴室>

指標	評価指標 (KPI)			評価
	事業開始前 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	実績値 (令和6年度)	
「久比岐野」の日帰り利用者数	0人	18,000人	7,748人	【目標値の達成は5割未満】 ・ 令和6年度は、スキー場の第二リフトの更新に伴う休止や、2月の大量降雪の影響により、日帰り温浴の利用者数が減少した。 ・ 今後は、割引券の配布やSNSを活用した情報発信を引き続き行うとともに、新たなイベントと連携した誘客等により、利用者数の増加につなげていく。
「久比岐野」の日中飲食サービス及び物販の売上額	0千円	9,000千円	386千円	【目標値の達成は5割未満】 ・ コロナ禍前の利用者数への回復が果たせない中、本格的な日中飲食サービスに着手できなかった。 ・ 物販は、地域のお菓子等の特産品販売を継続して行ったものの、増収は果たせなかった。 ・ 今後は、新たなサービスの提供を検討し、売上額の向上を図っていく。
雪だるま高原の来場者数	118,900人	123,900人	54,351人	【目標値の達成は5割未満】 ・ スキー場においては、第二リフトの更新に伴う休止により、土曜・日曜日の入場者が減少したほか、2月に二度の寒波が到来し、スキー場を含めた市内全域が大量降雪に見舞われたことから、目標に対し大幅な来場者数の減少となったが、ナイター営業や今シーズン限定のツアーの実施、営業期間の延長等を行い集客に努めた。 ・ 今後も施設全体の受入環境の向上を図り、来場者数の増加につなげていく。

## ■ 背景・目標

- 当市では平成 17 年以降、人口の自然減と若者世代の流出による社会減が同時に進行している中で、特に社会減では、進学や就職を理由とした10代後半から20代前半の転出超過が主な要因となっている。
- そこで、本計画では、若者・子育て世代において就労希望が高い情報通信業等の企業誘致に取り組むとともに、IT人材の育成や市内企業のDX化を推進し、活力ある地域経済の確立を目指す。

## ■ 計画の概要

### <計画期間>

令和5年度～令和7年度（3年間）

### <交付金対象総事業費>

133,438千円

### <事業概要>

#### ○ IT人材育成・確保支援事業（R5～R7）

- ・「出張IT説明会」、「IT講座」、「プログラミング学習会」、「IT企業合同会社説明会」、「リスキリングIT系講座」の開催
- ・デジタル系部活動への支援

#### ○ ものづくり企業DX推進支援事業（R5～R7）

- ・DX人材育成等支援事業補助金
- ・DXセミナーの開催

#### ○ 企業誘致促進事業（R5～R7）

- ・オフィスビル整備支援補助金

## ■ 令和6年度の事業 60,887千円

### ① IT人材育成・確保支援事業 4,236千円

- ・IT企業による高校での「出張IT説明会」の開催（2校・参加者延べ90人）
- ・高校のIT・デジタル分野の部活動への講師の派遣（1校・参加者延べ72人）
- ・小・中・高校生等を対象とした「IT講座」の開催（15回・参加者延べ102人）
- ・求職者等を対象とした「リスキリングIT系講座」の開催（参加者延べ318人）

### ② ものづくり企業DX推進支援事業 950千円

- ・製造業向けのDXセミナーの開催（参加者 36人）
- ・製造業向けのDX実践研修の開催（参加者 7社7人）

### ③ 企業誘致促進事業 55,701千円

- ・IT業界に精通する民間事業者に委託し、企業交流会や当市への視察ツアーを実施したほか、IT企業誘致専用HPを運用
- ・民間事業者によるIT企業の集積拠点となるオフィスビルの整備を支援



<出張IT説明会>



<部活動支援>



<製造業DXセミナー>



<オフィスビル>

評価指標（KPI）					評価
指標	事業開始前 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	実績値 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)	
DX認定事業者数	1社	3社	2社	4社	【目標値の5割以上を達成】 ・令和6年度は令和5年度と比較し、1社増となったものの、目標達成には至らなかった。 ・引き続き人材育成支援事業補助金や具体的な取組につながる実践的な研修の開催により、市内企業におけるDXの導入、ひいてはDX認定事業者の増加につなげていく。
IT人材育成事業への参加人数	0人	1,355人	728人	2,040人	【目標値の5割以上達成】 ・目標達成には至らなかったものの、令和5年度（333人）と比較し、倍以上の増加となった。 ・幅広い層を対象にITパスポートの取得を目的としたリスキリングIT系講座を設けたことや、小・中・高校への積極的な周知により、参加者の増加につながった。 ・現在の取組を検証し、ニーズに応じた効果的な取組となるよう見直しを加えながら、IT企業や高等学校、関係機関等と連携し、更なる参加者の増加を図っていく。
IT企業等の新規立地企業数	5社	10社	11社	13社	【目標値を達成】 ・経営者が当市出身であるなど、当市と関係をもつIT企業等へアプローチするほか、IT企業等の動向に知見を有する民間事業者を活用し、誘致業務に取り組んだ結果、新規立地企業数の増加につながった。
IT企業誘致による移住者数、本事業の関係人口数	0人	65人	75人	125人	【目標値を達成】 ・新規立地企業数の増加に伴い、移住者の増加につながった。 ・IT企業等の動向に知見を有する民間事業者による視察ツアーのほか、新潟県東京事務所の企業誘致活動に伴う視察ツアーや交流会の実施など、複数のチャンネルを活用した誘致活動を展開した結果、関係人口数の増加につながった。

■ 背景・目標

○ 観光という手法を用いて魅力的な歴史・文化資産などの地域資源を更に付加価値の高い観光資源として継承し、歴史・文化を伝承することにより、『「まち・暮らしづくり」と「新しい観光産業の創出」の両立』、『ビジネスが生まれやすいコンスタントな集客』、『通年観光の効果が地域全体に及び取組』を進め、市民のまちへの愛着や誇りの醸成、地域資源をいかした生業の創出を図り、若者が帰ってきたくなるまち、若者・女性が働きたくなるまちづくりを目指す。

■ 計画の概要

<計画期間>

令和6年度～令和8年度 (3年間)

<交付金対象総事業費>

106,415千円

<事業概要>

○歴史・文化等の伝承

- ・鉄道遺産群活用基本計画検討事業 (R6)
- ・サイン整備工事業 (R7、R8)

○観光消費額向上、観光関連産業の活性化、生業の創出

- ・観光コンテンツ検討事業 (R6)
- ・回遊観光戦略・観光施設基本構想検討事業 (R6)
- ・屋台会館・海浜公園賑わい創出事業 (R6、R7)
- ・久比岐自転車道誘導用路面標示設置事業 (R6)
- ・グリーンスローモビリティ運行事業 (R8)

■ 令和6年度の事業 48,238千円

①歴史・文化等の伝承 14,301千円

- ・ニーズ調査等を実施し、鉄道遺産を後世に保全及び継承していく方策を整理した「上越市鉄道遺産群活用基本計画」の取りまとめ

②観光消費額向上、観光関連産業の活性化、生業の創出 33,937千円

- ・市場調査やワークショップ等を実施し、観光コンテンツ等を整理した「春日山地域観光コンテンツ計画」の取りまとめ
- ・回遊ルートを設定し、駐車場やトイレの適正配置、二次交通、サイン配置等について整理した「春日山地域回遊観光計画」と、関連する既存施設の活用構想の取りまとめ
- ・直江津屋台会館と海浜公園の新たなにぎわい創出や収益化のスキーム構築に向け、イベントを複数回行い、日常的に事業者が出店しやすい環境を整備
- ・上越市観光情報サイト管理運営とパンフレットの発送業務を委託し、迅速かつ魅力的な観光PRを実施
- ・直江津駅から久比岐自転車道の区間において、双方向に矢羽根を設置し、安全にサイクリングを楽しむことができる環境を整備



<直江津D51レールパーク>



<春日山城エリア・観光拠点エリア等の将来イメージ>



<直江津屋台会館・海浜公園>

評価指標 (KPI)					評価
指標	事業開始前 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	実績値 (令和6年度)	目標値 (令和8年度)	
地域における観光消費額 (県外宿泊客)	7,244円/人 (令和3年実績値と令和4年概算値の平均値)	8,331円/人	14,338円/人	14,488円/人	【目標値を達成】 ・春日山地域を始めとした計画策定後の整備を進めていくことにより、観光消費額の増加を図っていく。 ※令和6年度の実績値は概算であり、確定は令和8年3月頃
春日山地域の観光入込数	278,083人/年	294,768人/年	255,286人/年	328,138人/年	【目標値の7割以上達成】 ・春日山城跡と企画展「越後上越 謙信公と春日山城展」の入込数が落ち込んだことにより目標を達成できなかった。 ・春日山地域における歴史・文化の伝承や地域資源をいかした生業創出に向けて、地域全体の魅力向上を図るとともに、上杉謙信公や春日山城をいかした観光コンテンツ等の魅力の向上による滞在時間の確保を目指し、地域の観光入込数の更なる増加を図っていく。
高田小町の観光入込数	21,867人/年	23,179人/年	26,777人/年	25,803人/年	【目標を達成】 ・地域住民や各種文化団体等の活動の場として定着しており、建物の趣をいかした物販などのイベント会場として活用されている。 ・入館者の増加に向けて、高田世界館や旧今井染物屋等の周辺施設と連携し、高田小町周辺エリアの魅力向上を図っていく。
直江津D51レールパークの観光入込客数	10,454人/年	11,081人/年	12,000人/年	12,335人/年	【目標を達成】 ・他地域にも点在する鉄道遺産を「面」として捉え、「上越市鉄道遺産群」として1つのストーリーでパッケージ化することにより魅力を高め、上越市ならではの新しい観光資源とし、入込数の更なる増加を図る。

※本計画のKPIの値は暦年(1~12月)の値となります。

## ■ 背景・目標

- 企業版ふるさと納税は、これまで、地域再生計画に搭載された特定の事業のみが寄附対象であったが、令和2年度の制度改正に伴い、各自治体が策定する地方版総合戦略に基づく包括的な地域再生計画を作成することにより、地方版総合戦略に位置付けた地方創生に資する全ての事業を寄附対象とすることが可能になった。また、法人関係税の税額控除割合が、最大約6割から約9割に引き上げられた。
- こうした国の制度改正を踏まえ、市では第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第2期総合戦略」という。）に基づく包括的な地域再生計画を作成して制度を積極的に活用することで、市の財源を確保しつつ、第2期総合戦略に位置付けた事業を推進していく。

## ■ 計画の概要

- <計画期間>  
令和2年度～令和6年度（5年間）
- <寄附対象事業>  
第2期総合戦略に基づく事業
  - ・しごとづくり分野 [104事業]
  - ・結婚・出産・子育て分野 [115事業]
  - ・まちの活性化分野 [198事業]
  - ・U I Jターンとまちの拠点性・担い手づくり分野 [33事業]

## ■ 令和6年度の成果

- <寄附を受けた取組（大事業名）：企業名>
  - ①自主防災組織等の活動支援事業（災害対策費）：新星商事株式会社
  - ②高田城址公園の桜の保全、公園整備事業（公園管理費）  
：株式会社西村製作所
  - ③通園バス運営事業（公立保育所運営費）：株式会社ウチダ和漢菜
  - ④若者活躍推進事業（若者活躍推進事業、企画調整費）  
：株式会社カナヤマ
  - ⑤自主防災組織の活動支援事業（災害対策費）：株式会社第一実業
  - ⑥文化財・歴史的建造物の保護事業（歴史的建造物等整備支援事業）  
：鈴木治作株式会社
  - ⑦上越科学館子どもたちの学びの場充実事業（上越科学館管理運営費）  
：日本曹達株式会社
  - ⑧アニバーサリーイヤー関連事業（イベント推進費）：南星運輸株式会社
  - ⑨地域医療関連事業（病院事業管理費）：北星運輸株式会社
  - ⑩文化財・歴史的建造物の保護事業（歴史的建造物等整備支援事業）  
：鈴鹿貨物株式会社
  - ⑪子育て支援事業（子どもセンター運営事業）：サカキ産業株式会社
  - ⑫子育て支援事業（児童福祉総務費職員人件費）※人材派遣型  
：第一生命保険株式会社
  - ⑬農業担い手育成確保支援事業（担い手育成確保支援事業）  
：阪神金属興業株式会社

<寄付金を活用して導入した防災資機材>

<寄附金額>  
102,500千円



		評価指標（K P I）		評価
指標	事業開始前	目標値 (令和6年度)	実績値 (令和6年度)	
34歳以下の就職率	39.8% (平成30年度)	45.7%	31.5%	【目標値の5割以上達成】 ・転職者の多くは、若い世代を中心に民間事業者が運営する就職・転職サイト等を利用する傾向にあり、ハローワークを介した就職が減少していることが考えられる。 ・また、働き方のニーズが多様化している中で、求人企業と求職者のニーズが合致せず、就職に至らないことも一因として考えられる。 ・このことから、令和6年度に新設した求人・求職ポータルサイトの利用を促進し、企業と求職者の多様なニーズのマッチングを図ることで、就職率の向上につなげる。
合計特殊出生率	1.51 (平成30年)	1.68	【参考】 1.29 (令和5年)	※令和6年の実績値は今後公表予定 ・引き続き、結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくりを推進する。
休日滞在人口率	1.04 (平成30年)	1.04	【参考】 1.05 (令和5年1月～6月)	※データ出典元の「RESAS（地域経済分析システム）」が令和7年3月に新システムに移行したことに伴い、当該データの提供が終了したため、測定不能
転入者数	4,246人 (平成26年～平成30年の平均値)	4,246人	4,083人	【目標値の7割以上達成】 ・若者の将来的なUターンに向け、高校生の頃から地域に愛着を持ってもらう取組を推進する。 ・引き続き、移住定住を支援する制度の活用呼び掛けやSNS等を活用した情報発信を行うことで、県外からの移住者の増加に努める。
雇用の場が整っていると感じる20代・30代の市民の割合	42.2% (令和元年度)	42.2%	66.4%	【目標値を達成】 ・引き続き、若者世代にとって魅力のある働く場の確保や企業・創業の支援等を推進していく。
出産や子育てがしやすいと感じる20代・30代の市民の割合	70.0% (令和元年度)	70.0%	39.9%	【目標値の5割以上達成】 ・各種支援策を通じた子育て環境の充実や、出産・子育てがしやすい実感を高めるための取組を進めていく。
上越市を暮らしやすいと感じる20代・30代の市民の割合	77.6% (令和元年度)	77.6%	79.6%	【目標値を達成】 ・若者・子育て世代にとって魅力的な仕事の創出や子育て環境の整備などに取り組むとともに、まちづくりへの参画や主体的な活動を後押しする取組の推進を図ることにより、若者・子育て世代の希望がかなう環境の整備を進めていく。
今後も上越市に住み続けたいと感じる20代・30代の市民の割合	60.5% (令和元年度)	60.5%	63.5%	【目標値を達成】 ・結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくりの推進など、若者にとって住み続けたいと感じられる環境を整えていくとともに、SNSを活用して、当市の魅力や子育て環境、仕事に関する情報発信に取り組んでいく。

※本計画においては、国が示す作成例に倣い、第2期総合戦略の各政策分野における数値目標をK P Iとして設定している。